

第 1 回 活用部会 会議録（要旨）

- 1、日 時：平成 22 年 10 月 28 日（木） 13 時 30 分～15 時 30 分
- 2、場 所：熊本市古京町別館 2 階 第 2 研修室
- 3、出席委員：吉丸部会長、今村委員、北村委員、佐々木委員、富田委員、松本委員
（欠席者：岩下委員、岩永委員）
- 4、説明事項 （資料 1～8）
 - （1）活用部会 趣旨説明 （資料 1～3）
 - （2）熊本城の利活用について （資料 4～7）
 - （3）今後のスケジュール（案） （資料 8）
- 5、審議 議事録（要旨）
 - （1）説明事項に対する意見交換（意見・要望）
 - ・城内施設には重要文化財建造物も含まれるのか？
→ 城内施設とは、重文建造物、復元建造物及び売店などの現代の建物も含まれる。
 - ・城の行事は恒例化しているので、個性のある催し等を再考する必要があるのでは。
 - ・熊本城を有効活用するという観点から、催事・行事が何もない月もあるので、新たな活用、催事時期の見直しなどの検討もする必要があるのではないか。
 - ・お城の建物と石垣の良さをどう見せるか、今後考えていかなければならない。
 - ・熊本城が主催する行事と、他の部署が主催する行事の趣旨内容が違ってきているので、催事内容を考え直す必要があるのでは。
 - ・入園者の増加と熊本城の良さの再発見に繋がるように、催事の再検討を今後行っていく必要がある。
 - ・県外観光ツアー客が少なくなっているという聞き、熊本城に来ない理由を把握する必要がある。
 - ・民間の団体が城内を活用するためには、文化財保護のハードルが高すぎるので、もう少し落とせないか。
 - ・熊本城域全体を P R、活用できるようにするためにはどうしたらいいか、考えたい。
 - ・熊本城周辺施設（県美、伝統工芸館など）との情報交換など、連携が必要。
 - （2）「桜の馬場 城彩苑」についての意見
 - ・城彩苑の運用については、オープン後の経緯・動きを見守りながら、今後も活用部会で考えていかなければならない。

(3) その他の意見

- ・ 樹木が大きくなりすぎて石垣や櫓が見えないなど、熊本城の景観が変わってきている
樹木の伐採・剪定など、緑とお城の関係についても考えていきたい。